

まちの話題・市民の活躍

4/23

泳げ、泳げ 空高く

こども達の健やかな成長を願って「平成31年度沖繩市こいのぼり掲揚式」が、市役所で行われ、市内の保育園児約90人と関係者等が参加しました。

園児等が元気いっぱいに歌とダンスを披露した後、桑江市長等から園児一人ひとりに、小さなこいのぼりが手渡されました。その後参加者は、市民広場で大きなこいのぼりを掲揚しました。



4/23

平和の尊さを次の世代に

沖繩戦の悲惨な体験や教訓を次の世代へ伝え、平和な世界を実現させる人材の育成を目的とした沖繩市平和大使の認定式を行い、市内の中学生17人と社会人3人に、桑江市長から認定状を交付しました。

大使は、沖繩の歴史や戦争に関する講義の受講、戦跡めぐり、長崎原爆犠牲者慰霊平和記念式典への参列などを通して、戦争の悲惨さや生命の尊さを学び、平和発信活動に取り組みます。



5/9

人間を救うのは人間だ

沖繩市赤十字奉仕団の会員増強運動出発式が市役所で開催されました。

運動は、毎年5月の赤十字運動月間にあわせて会員の増強を図るために行われており、市赤十字奉仕団の仲宗根吉子委員長は「一人でも多くの方に赤十字を理解していただき、赤十字の会員の一人になっていただけるよう、普及につとめていきます」とあいさつしました。



5/11

女性による女性のための活動

人権擁護と女性・女兒の地位向上のため活動している国際ソロプチミスト沖繩一球陽によるチャリティー芸能公演「うりずんに集う」が、市民小劇場あしびなーで行われ、出演者の歌と踊りに、客席からは大きな拍手と歓声が起こりました。

公演の収益金は、沖繩こどもの国、市育英会、美さと児童園、市ファミリー・サポートセンターへ10万円ずつ寄付されました。



4/29

こどもも大人も大興奮！大満足！年に一度の大盤振る舞い

今年で25回目を迎えたパヤオまつりが、泡瀬漁港で開催され、雨が降りしきる中、多くの来場者が訪れました。

会場では、漁船海難遺児育英会への募金に協力した来場者に、魚汁2000食やおにぎりが振る舞われました。

ステージでは、まつりの目玉のまぐろの解体ショーとセリ販売、草花チャリティーオークション、大道芸などが開催されました。

まぐろの解体ショーでは、重さ約50kgのまぐろ

2本が豪快に解体され、その場でセリにかけられました。新鮮なまぐろが格安で購入できるとあって、こどもから大人まで大勢の人がセリに参加し、大いに盛り上がりました。

特設ブースでは、市消防署によるAEDの体験コーナーや沖繩警察署によるパトカーの乗車体験などがあり、防災訓練や防災知識の普及啓発が行われました。

フィナーレには、古謝翔龍太鼓が創作太鼓を披露し、まつりは大盛況のうち幕を下ろしました。



5/13

琉球ゴールデンキングス
激戦を終え次シーズンへ期待

プロバスケットボールのBリーグ西地区で優勝を果たした琉球ゴールデンキングスの選手等が市役所を訪れ、かけつけた多くのファンが見守る中、シーズン終了報告会を行いました。

木村達郎代表取締役社長は、アリーナ整備などホームタウンとしての沖縄市の支援や市民等の応援に感謝し「一緒に沖縄市を盛り上げ、沖縄県を元気にしていく」とあいさつしました。

また、佐々宜央ヘッドコーチは「今まで以上にエキサイティングな試合していく」とし、キャプテンの岸本隆一選手も「皆さんの声援が力になった。これからも歩みを止めずにプレーを続けていく」と、ともに次シーズンへの意気込みを語りました。

日本一を決めるチャンピオンシップで惜しくも敗れるなど、苦しみながら戦い抜いた今シーズンを振り返りながらも、選手等の心は、すでに次シーズンへと向かっています。



感謝と決意を語る佐々ヘッドコーチ

橋本竜馬選手からユニフォームを贈呈

5/8

5時8分 ゴヤでゴーヤー祭り

コザ・ミュージックタウンで「第33回元祖ゴーヤーの日祭り」(主催:コザロータリークラブ・胡屋地区商業地域活性化研究会)が開催され、こどもからお年寄りまで大勢の市民等が訪れました。

100kgのゴーヤーが、祭り会場で約500食のゴーヤーチャンプルーに調理され、来場者に無料でふるまわれました。その他にも、エイサー会館のVRの体験等があり祭りは大いに盛り上がりました。



5/8

起業家にやさしいまち 沖縄市

一番街商店街にある沖縄市創業支援拠点が「STARTUP LAB Lagoon KozA」に名前を変えてリニューアルオープンし、その記念イベントに、現在起業をしている人や起業を志している人、市の経済活性化を目指す人など大勢の人が来場しました。

「Lagoon」では、起業支援やプログラミングスクール等を開催します。

【公式サイト】
<http://lagoon-koza.org/>



今月の身近な集い処

市内各地の、仲間と集まって楽しく活動している場所を紹介し、お気軽にお越しください!

今回は、住宅地として人口が増え続けている東自治会の活動を紹介します。

東自治会では、住民の健康維持と住民間の交流の場を大切にしたいという思いから、公民館で健康づくり体操を行っています。参加者は、毎回約20人。いきいき百歳体操とかみかみ百歳体操を行い、認知症の予防や口腔機能の維持に努めています。体操後は、茶話会も行われ、参加者は、「家に閉じこもらず、集まって楽しみながら体操できるのは上等!」等と笑顔で話しています。

これからも「元気に長生き!」を目標に活動を続けていきます♪



活動日時: 毎週火曜日、第2・4金曜日
10時~12時
場所: 東1-29-1 (東公民館)
問合せ: 介護保険課 (内線 3143)

5/9

登下校 いつもの道こそ 要注意

5月11日からスタートする「春の全国交通安全運動」の出発式が、市武道館で開催されました。

胡屋保育園の園児の太鼓の演舞や交通安全宣言が行われたほか、沖縄警察署管内である沖縄市・北谷町・北中城村の交通安全推進協議会や交通安全指導員、地域の団体やボランティアなどの関係者が、交通事故防止に向けて総ぐるみで取り組むことが確認されました。



5/8

交通ルールを学んで実践

宮里幼稚園の園児と宮里小学校の1年生を対象とした交通安全教室と、小学4年生を対象とした自転車安全指導教室を実施しました。

沖縄警察署職員や沖縄市交通安全委員の会等の間いかけに元気よく答えながら交通ルールを学び、模擬信号機を使つての実践などを行いました。

交通安全教室と自転車安全指導教室は、4月から5月にかけて、市内の全幼稚園・小学校で開催されました。



5/10

連携を深め、税徴収率向上へ

沖縄県コザ県税事務所管内8市町村の税務職員が相互に、また県の税務職員が市町村の身分を併せ持ち、徴収業務を行う「中部8市町村の税務徴収職員相互併任辞令交付式及び沖縄県税務徴収職員併任辞令交付式」が沖縄県中部合同庁舎で行われ、各市町村や県税務職員の代表者が辞令の交付を受けました。

併任の実施により徴収率向上や徴収体制の強化、滞納処分の強化を図っていきます。



4/26

市納骨堂 清明祭

旧暦3月の清明節に行われる先祖供養行事の清明祭(シーミー)を市倉敷にある納骨堂にて、執り行いました。納骨堂には、公共工事等で発見された遺骨や引き取り手がいない遺骨など、約1,400柱が合祀されています。

清明祭では重箱に入ったご馳走や果物、お菓子などを供え、桑江市長をはじめ、小浜市議会議長や市職員が線香をあげ、合祀者の冥福を祈りました。



KOZA CHOICE!

コザチョイス 57



商品名: バケツト
事業所名: zazou
職種: パン屋・カフェ
代表者: 安村 正子

ゲート通りにたたずむ、温かなランプが灯る木とレンガ作りのかわいいお店がzazouです。ここは米軍基地が近く、昔から多くの外国人客が訪れており、「故郷のパンが食べたい」という彼らの想いに応えながら、ゲート通りらしい多国籍な発展を遂げてきたパン屋さん。

バケツトは創業当初からある看板商品で、シンプルながらも一番手がかかるお店の方の愛着が深い一品です。材料も良いものだけを使っており、持ち帰った後もふんわりいい香りが漂います。かじってみると、余計なものは一切使っていない、繊細で洗練されたバケツト本来のおいしさが口いっぱい広がります。

「焼きあがったバケツトを熱い窯から出すと、温度の変化でパンの表面からパチパチと音がするんです。焼きたての時間には、お店でこの「パンの歌」が聴けますよ」と教えてくれた店主の安村さん。

安村さんが30年間大切に育ててきたzazouは、今も昔もゲート通りになくしてはならない存在です。



所在地: 沖縄市中央 2-15-1
営業時間: 10:00 ~ 19:00
休み: 火曜日
問い合わせ: 098-934-2380